# 平成２７年篠山市政１０大ニュース

篠山市では、年末にあたり「平成２７年篠山市政１０大ニュース」を下記のとおり選定しました。

その選定にあたっては、最初に市政に関わりのある平成２７年の主な出来事を拾い出し、平成２７年篠山市政１０大ニュース候補（５４の出来事）とし、市長・副市長・教育長を含む篠山市の管理職職員（７７人）で投票を行いました。

その後、投票結果を参考にしながら、市長・副市長・教育長で調整し、「平成２７年篠山市政１０大ニュース」として選定しました。

なお、「平成２７年篠山市政１０大ニュース」として選定した個々の話題は、それぞれに重要であり、比較すべきものではないとの観点から順位づけは行っていません。

1　篠山小学校木造校舎の耐震補強改修工事完成（3月12日）

1　篠山城跡北堀で約40年ぶりにボート復活（3月28日）

1　八上小学校木造校舎が兵庫県景観形成重要建造物に指定（3月30日）

1　こども発達支援センター開所（4月1日）

1　「日本遺産」認定（4月24日）

1　新しい観光キャッチフレーズ「俺は丹波篠山だ」に決定（8月7日）

1　オリジナル婚姻届製作（11月9日）

1　教育大綱策定（11月16日）

1　丹波焼最古の登り窯修復完成と日本六古窯サミット開催
（6月24日・11月21日）

1　「ユネスコ創造都市ネットワーク」加盟認定（12月11日）

※　掲載は時系列順

（発表：平成２７年１２月１８日）

# 平成２７年篠山市政１０大ニュース（解説）

※　掲載は時系列順としています。

## １　篠山小学校木造校舎の耐震補強改修工事完成（3月12日）

昭和２６年から昭和３３年にかけて建てられた篠山小学校の木造校舎は、平成２３年の耐震診断で国の基準を下回り、基礎が弱く、補修は困難と指摘されましたが、木造耐震に詳しい専門家の協力を得て、平成２５年１２月から、本格的な耐震補強改修工事を進めてきました。木造校舎５棟と講堂１棟が改修され、総工費は約７億４千万円。瓦葺き屋根や木製の階段は、そのまま生かして、篠山城跡の石垣や内堀が見渡せる渡り廊下を新設するため、２階を新設しました。

## １　篠山城跡北堀で約40年ぶりにボート復活（3月28日）

篠山城跡などの景色をお堀からも楽しんでもらおうと、北堀での手こぎボートが約４０年ぶりに復活しました。お堀再生プロジェクトの一環で、桜の名所を盛りあげようと企画されたものです。新たに浮桟橋が設けられ、３人乗りボート１０隻を用意しました。北堀でのボート事業は昭和２７年に始まりましたが、利用者が減り、昭和４８年になくなりました。春に好評だったことから、秋の観光シーズンにも実施しました。

## １　八上小学校木造校舎が兵庫県景観形成重要建造物に指定（3月30日）

温かみのある木目の壁に、薄ピンク色の窓枠。昭和の面影を残す八上小学校の木造校舎が、兵庫県の「景観の形成等に関する条例」に基づく、景観形成重要建造物に指定されました。市内では、大山上の西尾家住宅、日置の中立舎に次ぐ３件目で、学校としては初めてです。平成２４年に耐震補強を含む大規模改修を実施し、地域のシンボルとして愛され、景観形成に重要な役割を果たしていることが高く評価されました。

## １　こども発達支援センター開所（4月1日）

平成２５年に閉校した旧市立畑小学校の校舎を活用し、発達に課題のある児童への言語指導や機能訓練、放課後等デイサービス、保護者の療育相談などを行う篠山市こども発達支援センターを開設しました。同センターの整備については、畑小学校跡地活用検討委員会にお願いし、熱心にご検討いただき、市の重要施策として取り組み、開所に向けて準備を進めてきました。同センターは、社会福祉法人わかたけ福祉会が指定管理者となり運営しています。

## １　「日本遺産」認定（4月24日）

地域の有形・無形の文化財を活用して国内外にアピールし、地域活性化につなげようと、文化庁が平成２７年度から新設した「日本遺産」の第１号に篠山市が申請した「丹波篠山　デカンショ節－民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶」が認定されました。全国では１８件が選ばれ、兵庫県内では篠山市だけ。今回の認定は、デカンショ節だけが評価されたのではなく、デカンショ節のなかで歌われている篠山市の歴史・自然・文化・まちなみ・暮らしが高く評価されました。

## １　新しい観光キャッチフレーズ「俺は丹波篠山だ」に決定（8月7日）

篠山市では、新しい観光キャッチフレーズをつくるため、平成２６年に全国から公募し、９００点近くが寄せられましたが、その後、平成２７年４月、日本遺産に認定されたことから、これを踏まえ、篠山市、篠山市商工会、丹波篠山観光協会で協議し、デカンショ節の歌詞にある「お国問われて肩いからせて　俺は丹波の篠山だ」の一部を採り入れる形で、「俺は丹波篠山だ」に決定しました。

## １　オリジナル婚姻届製作（11月9日）

婚姻届の記載内容は国で定められていますが、デザインは市区町村で決められることから、篠山市のマスコットキャクター「まるいの」と「まめりん」をあしらったオリジナルの婚姻届を製作しました。また、通常、婚姻届提出後は手元に残らないため、お二人の記念となる婚姻届も用意し、おたがいにメッセージを書く欄や写真を貼れるスペースも設けています。さらに、希望者には市役所本庁舎に設けています「寿」と記したパネルの前で撮影し、その場で写真をお渡ししています。

## １　教育大綱策定（11月16日）

地方教育行政の改正に伴い、教育大綱の策定が義務づけられたことから、市長、教育長、教育委員４人でつくる総合教育会議で協議を重ね、教育施策の基本方針となる篠山市教育大綱を策定しました。取り組むべき重点施策として、①ふるさと教育　②地域に開かれた学校　③学力の確立と向上　④スポーツに親しむ　⑤篠山ならではの文化を育む　⑥あいさつと生活習慣－の６項目を掲げています。適用期間は平成２７年度から平成３１年度までとなっています。

## １　丹波焼最古の登り窯修復完成と日本六古窯サミット開催（6月24日・11月21日）

兵庫県有形民俗文化財に指定されている丹波焼最古の登り窯（今田町上立杭）は、明治２８年に造られましたが、損傷が目立っており、平成２６年から、県と市が支援し、丹波立杭陶磁器協同組合が中心となり、多くのボランティアの協力を得て、修復が完成しました。窯は手作りの日干しレンガが使われ、覆い屋根はトタンから杉に一新されました。

また、平成２７年１１月２１日、火入れが行われ、その後、越前焼、備前焼、常滑焼、瀬戸焼、信楽焼、丹波焼の地元首長や窯元が集まる「日本六古窯サミット」が兵庫陶芸美術館で開催され、「世界に通用する日本六古窯ブランド確立のために情報発信し、日本遺産認定などに取り組む」としたサミット宣言を採択しました。

## １　「ユネスコ創造都市ネットワーク」加盟認定（12月11日）

ユネスコ（国連教育科学文化機関）が設ける「創造都市ネットワーク」の「クラフト＆フォークアート（工芸・民芸）」部門で篠山市の加盟が認定されました。国内の加盟は、札幌市、鶴岡市、金沢市、浜松市、名古屋市、神戸市に次いで７市目となります。クラフト＆フォークアート分野には、サンタフェ（アメリカ）、利川（韓国）、杭州（中国）など１２都市が加盟しています。

篠山市では、平成２３年１月、創造都市推進委員会を設置して取り組みを開始し、平成２６年３月に申請しましたが認められず、２回目の申請で加盟が認められました。